



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 ダイワボウホールディングス株式会社
コード番号 3107 URL <https://www.daiwabo-holdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 幸浩
問合せ先責任者 (役職名) 財務管理室長 (氏名) 花岡 博之
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-7739-7300

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	675,271	5.9	18,913	6.4	19,147	5.2	△4,198	—
2023年3月期第3四半期	637,610	18.3	17,774	19.5	18,209	20.9	12,398	18.3

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 △2,197百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 10,224百万円 (△3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△44.92	—
2023年3月期第3四半期	131.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	388,697	135,764	34.7
2023年3月期	406,688	143,961	35.2

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 134,707百万円 2023年3月期 142,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	32.00	62.00
2024年3月期	—	32.00	—		
2024年3月期(予想)				32.00	64.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	969,500	7.3	30,700	9.9	31,000	8.4	7,100	△62.7	75.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	96,356,460 株	2023年3月期	96,356,460 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	2,890,075 株	2023年3月期	2,892,570 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	93,465,518 株	2023年3月期3Q	94,165,501 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行され社会経済活動が正常化に向かうなか、企業収益の改善や個人消費の回復など、緩やかな景気回復がみられました。一方、世界情勢の緊迫化、資源・エネルギー価格の高止まり、円安による物価の上昇など先行きについては不透明な状況が継続しております。

このような状況において、当社グループは中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）の対象期間を「将来にわたる発展を見据えた転換期」と捉え、グループ基本方針として「次世代成長ドライバーの創出」「リーディングカンパニーとして新たな社会作りへの貢献」「経営基盤変革」を掲げ、次なる時代に向けた成長戦略と事業を通じた社会貢献の実践による企業価値の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は675,271百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は18,913百万円（前年同期比6.4%増）、経常利益は19,147百万円（前年同期比5.2%増）となりました。これに特別損失として固定資産除売却損19百万円、関係会社株式評価損23百万円、減損損失16,703百万円、その他1百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は4,198百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益12,398百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ITインフラ流通事業)

コーポレート向け市場では、全国各地の営業拠点において対面訪問の機会が増加し、円滑なコミュニケーションにより多くの商談が発生しました。特に2025年10月に予定されているWindows10サポート終了や、GIGAスクール端末の入れ替えに関する相談が増加傾向にあります。PCの販売においては、上述の更新需要を前にした買い控えなどの影響を受け台数としては減少したものの、単価上昇により売上高は前年同期を上回る結果となり、あわせてPC、タブレットなどのデバイス製品を中心に周辺機器やサービス&サポートを組み合わせた付加価値の高い提案により需要を獲得しました。また、iKAZUCHI（雷）を通じたクラウドサービスなどの拡充や提案活動を強化し、重点施策であるサブスクリプションビジネスについても売上高は拡大しました。業種別では企業・官公庁向けの中型から大型案件まで安定的に受注を獲得し、前年同期を上回りました。

コンシューマ向け市場では、量販店、ECチャネルともに市場が低迷し、売上高は前年同期を下回りましたが、PC、モニターやプリンタの利益率向上により増益となりました。

以上の結果、当事業の売上高は622,276百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は17,459百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

(繊維事業)

合織・レーヨン部門では、フェイスマスク・制汗シート等の不織布製品は引き続き堅調に推移しましたが、衛材用原綿の在庫調整や米国住宅市況に関連した需要の低迷、原燃料価格の高止まりなどもあり、収益面で苦戦しました。産業資材部門では、建築シートやベルト関連、ゴムスポンジ等は改善したもののカートリッジフィルターの需要回復が遅れました。衣料製品部門では、一部の国内アパレルは堅調に推移しましたが、米国向け輸出の市況低迷が続くなど苦戦を強いられました。

以上の結果、当事業の売上高は43,845百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は797百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

(産業機械事業)

工作機械部門では、風力発電や高効率タービンで需要のあるエネルギー業界や、コロナ禍により低迷していた航空機業界向け小型機エンジンの需要回復がみられました。一方活況が継続していた中国市場における風力発電業界では在庫調整局面を迎え需要が減少傾向となりました。自動機械部門では、前年同期比で減収となり、仕入原価の高騰や製品の調整費用の増加もあり減益となりました。

以上の結果、当事業の売上高は8,699百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は584百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べて17,991百万円減少し388,697百万円となりました。また、負債は、支払手形及び買掛金の減少等により前連結会計年度末に比べて9,794百万円減少し252,932百万円となり、純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べて8,197百万円減少し135,764百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月22日に公表しました連結業績予想から変更をしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,123	61,962
受取手形	3,718	3,195
売掛金	212,956	189,903
電子記録債権	23,181	26,097
商品及び製品	39,273	50,503
仕掛品	3,725	4,036
原材料及び貯蔵品	2,049	2,303
その他	17,322	11,692
貸倒引当金	△163	△143
流動資産合計	354,188	349,550
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,029	9,699
その他(純額)	19,098	11,221
有形固定資産合計	37,127	20,920
無形固定資産		
のれん	—	1,389
顧客関連資産	—	1,073
その他	2,081	1,686
無形固定資産合計	2,081	4,148
投資その他の資産		
その他	13,349	14,133
貸倒引当金	△57	△56
投資その他の資産合計	13,291	14,077
固定資産合計	52,500	39,146
資産合計	406,688	388,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,594	185,406
短期借入金	12,869	11,547
未払法人税等	6,077	977
賞与引当金	2,879	1,500
その他の引当金	442	238
その他	17,020	20,890
流動負債合計	231,884	220,561
固定負債		
長期借入金	13,230	13,500
役員株式給付引当金	75	90
退職給付に係る負債	10,764	11,340
その他	6,772	7,439
固定負債合計	30,842	32,371
負債合計	262,726	252,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,696	21,696
資本剰余金	7,951	7,951
利益剰余金	119,449	109,261
自己株式	△5,137	△5,133
株主資本合計	143,959	133,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,559	2,437
繰延ヘッジ損益	△201	△204
為替換算調整勘定	△208	367
退職給付に係る調整累計額	△2,114	△1,670
その他の包括利益累計額合計	△965	930
非支配株主持分	966	1,057
純資産合計	143,961	135,764
負債純資産合計	406,688	388,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	637,610	675,271
売上原価	588,699	621,221
売上総利益	48,910	54,050
販売費及び一般管理費	31,136	35,136
営業利益	17,774	18,913
営業外収益		
受取利息	27	12
受取配当金	162	173
販売支援金	239	229
持分法による投資利益	113	—
その他	207	347
営業外収益合計	750	763
営業外費用		
支払利息	118	117
持分法による投資損失	—	19
その他	197	393
営業外費用合計	316	530
経常利益	18,209	19,147
特別利益		
固定資産売却益	26	—
投資有価証券売却益	25	—
その他	6	—
特別利益合計	58	—
特別損失		
固定資産除売却損	44	19
関係会社株式評価損	—	23
減損損失	—	16,703
その他	—	1
特別損失合計	44	16,747
税金等調整前四半期純利益	18,223	2,399
法人税、住民税及び事業税	5,291	5,182
法人税等調整額	506	1,365
法人税等合計	5,797	6,547
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,425	△4,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	49
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	12,398	△4,198

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,425	△4,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128	883
繰延ヘッジ損益	△787	△2
為替換算調整勘定	1,003	512
退職給付に係る調整額	△2,668	444
持分法適用会社に対する持分相当額	123	113
その他の包括利益合計	△2,201	1,951
四半期包括利益	10,224	△2,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,118	△2,302
非支配株主に係る四半期包括利益	106	105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(子会社株式の譲渡)

当社は、2023年11月22日開催の取締役会において、当社の連結子会社（特定子会社）である大和紡績株式会社（以下、「大和紡績」）の発行済株式の85.0%を、アスパラントグループ株式会社（以下、「アスパラントグループ」）が発行済株式の全てを所有する株式会社アスパラントグループSPC11号（以下、「SPC11号」）に譲渡（以下、「本件譲渡」）することを決議し、同日付で本件譲渡に係る株式譲渡契約を締結いたしました。

株式譲渡日は2024年2月～3月中を予定しております。

当社グループは2021年5月に公表した中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）（以下、「本中期経営計画」）のもと、企業価値向上施策に取り組んでまいりました。かかる状況下、当社グループは本中期経営計画の最終事業年度を迎え、次期中期経営計画の策定に先立ち、2023年5月に当社グループの事業ポートフォリオの在り方、キャピタルアロケーション等についての重点検討事項ならびに検討体制を整理し、開示いたしました。事業ポートフォリオについて「ベストオーナーか」「持続的な価値創出が可能か」という2つの観点から検証を行い、大和紡績については、企業価値向上に最も寄与する戦略的選択肢として当社グループからの独立化を含め、その位置づけを慎重に検討してまいりました。大和紡績が更なる成長を遂げるためには、積極的な研究開発や大規模な設備投資等を含む機動的な経営の意思決定が必要となることから、当社は、現状の当社グループの事業ポートフォリオにおいて、戦略的選択肢の実施の是非について大和紡績との協議を行いながら検討を進めてまいりました。その結果、大和紡績の事業価値最大化を十分に図るためには、当社の経営資源及び意思決定体制に代わるベストオーナーの選定が必要だと判断し、プロセスに基づき複数の譲渡候補先との協議を経た結果、大和紡績が従業員とともに自立的かつ持続的な成長を実現し、お客様への価値提供を通じて暮らしの豊かな未来を創造するには、アスパラントグループが有する経営資源のもと、当社グループから独立した企業グループとして機動的な意思決定を行うことが最適であり、当社及び株主の皆様をはじめとする当社のステークホルダーの皆様の最善の利益にも合致するものと判断し、本件譲渡を決定いたしました。

譲渡株式数及び異動前後の所有株式の状況等

(1) 異動前の所有株式数	107,932,163株 (議決権の数：107,932,163個) (議決権所有割合：100%)
(2) 譲渡株式数	91,742,339株 (議決権の数：91,742,339個)
(3) 譲渡価格	9,541百万円 (株式価値11,224百万円の85.0%相当額)
(4) 異動後の所有株式数	16,189,824株 (議決権の数：16,189,824個) (議決権所有割合：15.0%)

譲渡する事業が含まれている報告セグメントは繊維事業であり、当該繊維事業の固定資産につきまして、本件譲渡を決定したことに伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失16,695百万円として特別損失に計上しております。なお、回収可能価額は株式譲渡契約等に基づき評価した正味売却価額により測定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	繊維事業	産業機械 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	582,817	45,713	8,527	637,058	551	637,610	—	637,610
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	161	13	—	175	248	423	△423	—
計	582,978	45,726	8,527	637,233	800	638,033	△423	637,610
セグメント利益	16,270	786	603	17,659	81	17,741	33	17,774

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	繊維事業	産業機械 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	622,276	43,845	8,699	674,821	450	675,271	—	675,271
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	118	13	—	131	167	299	△299	—
計	622,394	43,859	8,699	674,953	617	675,571	△299	675,271
セグメント利益	17,459	797	584	18,841	32	18,873	40	18,913

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

繊維事業におきまして、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当第3四半期連結累計期間におきまして減損損失16,703百万円を特別損失に計上いたしました。主要なものの詳細につきましては、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報) (子会社株式の譲渡)に記載のとおりであります。